

シャープ トランジスタラジオ TR-235

BCバンド専用のものでは4〜6石として相当小型のポケットラジオが作られているが、2バンドでは8石以上となり、セットも自然大きかった。しかし、最新型の短波用ドリフトトランジスタを用いて、発振混合を1石で行い、小型化に成功したのがTR-235 7石2バンドトランジスタラジオです。この特徴ある各部について説明すると

新型トランジスタの採用とセットの小型化

2バンドセットは普通周波数変換回路として発振混合各1石を使うセパレート方式ですが、TR-235ではドリフトトランジスタの中でも特に優れた短波用のものを使っている。これは遮断周波数(f_c)55Mcという高性能のもので、2石を使用したものと同じ性能を発揮している。

ロッドアンテナ(多段引きのばし、取付、取はずし可能)キャビネットを小型化するのに短波用のアンテナを内蔵することはかえって不合理となるので、本機にはネジ込み式のものを用い、全長は110cm(使用時)9段引延しのもので、短波受信の際は、高感度な点で有利であるとともに、縮めた時の寸法はネジ部共でわずか16cmという短かさで、携行する時はショルダーバッグに収容できる。

内蔵スピーカーと音質向上

普通ポータブルラジオの音質は、セットが小型化するほど悪くなるといわれていたが、PM-253では2.5型強力PDSを使って従来の2.5型より磁気回路を強力にし、その欠点を補っている。すなわち、キャビネットサイズの許す限りギリギリ一杯までヨークを大きくして、いままでの3.5型級に相当するものとし、音質を向上させて、臨場感に近い、ダイナミックな音を楽しむことができる。

ACアダプターと使用電池

小型セットながら、ACアダプターを使えるように設計されているので、家庭での使用には従来の大型ラジオと同様電池取換等のわずらわしさから解放されている。ただ本機は電源電圧として6Vを用いているので、従来の9V用のアダプターを使うことはできない。また、9V用を間違え

ないよう差込みプラグは丸ピン型のを新しく設計しています。

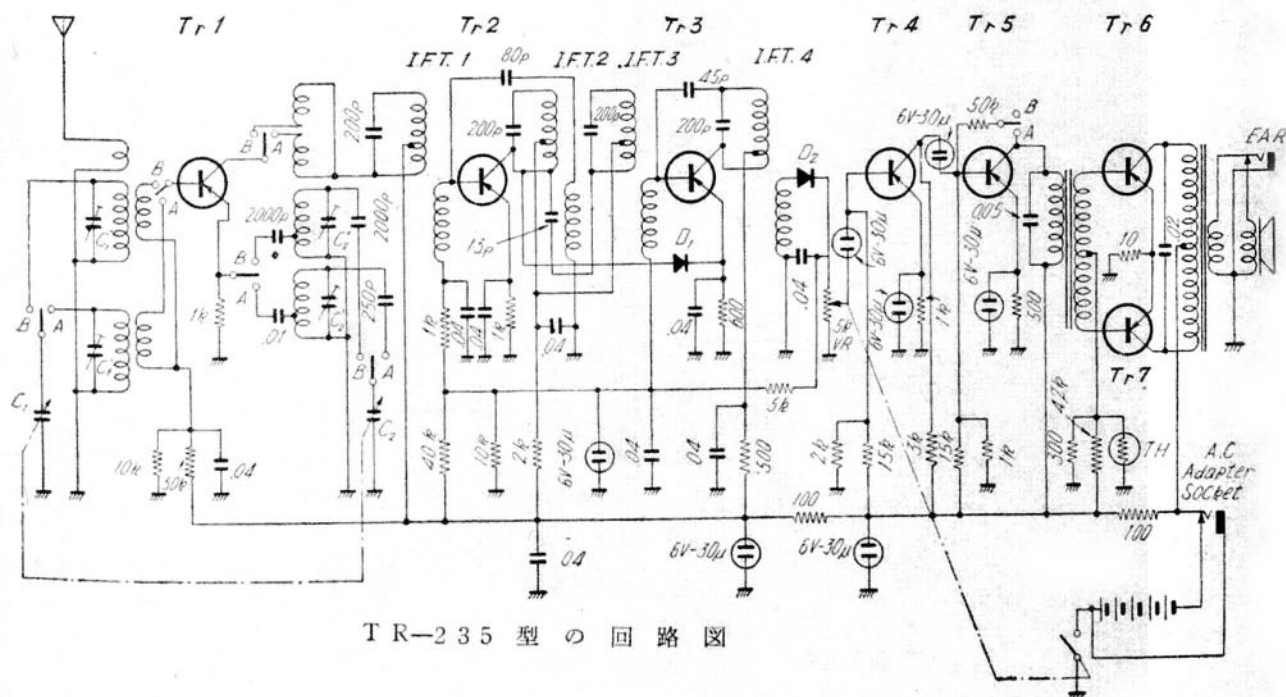
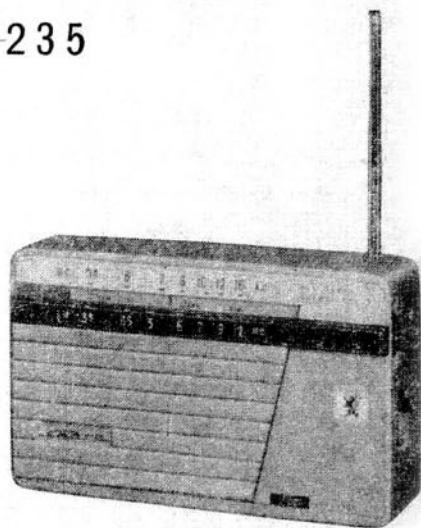
ポータブルラジオ本来の目的である携行しながらの受信の場合、電源は、単3号乾電池(U M-3)またはトランジスタ用バック電池

4AA型のどちらでも使えるよう単3用電池ケースおよび電池スナップを付属しています。なお、電池使用の場合、電池の寿命は電池の新旧やセットの使用条件で異なることはいうまでもないが、音量を有効に調節して使えば100時間以上の聴取が可能です。

このような数々の特徴のほか、ダイヤルは、選局に便利な横行ダイヤルとし、目盛はBC、SWともに読とりやすくしております。

規格

- 回路方式 トランジスタ7石 ダイオード2石
- AGC付スーパーヘテロダイン方式
- 受信周波数範囲 B C535~1605kc、SW 3.9~12Mc、
- 出力 150mW
- 使用電池 UM-3(単3号乾電池)4個6Vまたは4AA(6V)1個
- スピーカー PM-253 2.5型強力PDS
- イヤホン MR-1A(ローインピーダンス・マグネチック型)
- 寸法 横163×高98×奥行43mm



TR-235型の回路図